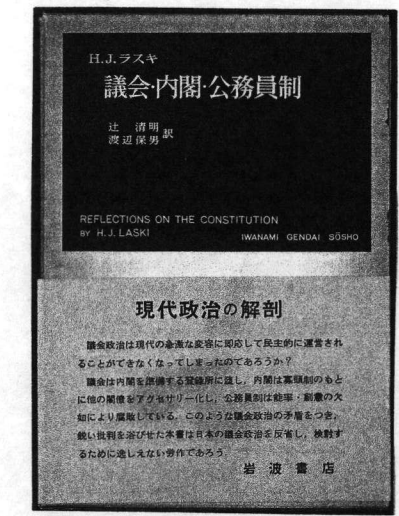


辻清明 つじあきみ 政治學者。大正二年四月五日京都生れ、平成二年七月二十日没（一九三一年）。昭和十一年東京帝國大學法學部卒。一十九年東大教授、四十九年國際基督教大學教授、五十四年文化功勞者。日本學士院會員。

著書『現代文明の批判』（合著・思想の科學研究會編、昭和二十四年六月十五日ヤカデメイヤ・プレス「思想の科學研究會叢書」）、『教育を守るため』（合著・關口泰編、昭和二十九年一月二十八日柏林書房）、『危機はここから來てゐる』（合著・吉野源三郎編、昭和二十九年二月二十日厚文社）、『日本の進路』（合著、昭和二十九年五月八日岩波書店「村の圖書室」）、『總選挙の實態』（共編、昭和三十年一月十日岩波書店）、『政治』（編、昭和二十一年二月五日岩波書店）

『岩波小辭典』（）、『日本のあけぼのー建國と紀元とあけぼの』（合著・二三宮原に編、昭和二十四年一月五日光文社）『カッパ・ブックス』（）、『政治を考へる指標』（昭和二十五年十一月二十一日岩波書店）『首相公選論ーその主張と批判』（合著・ヒロ村正編、昭和二十七年十一月二十日弘文堂）『ロシヤイヤ・ブックス』（）『百人百陶ー掘出しのヒント』（合著・徳間書店編集部編、昭和二十八年八月二十日徳間書店）『リビンダライブラリー』（）、『日本の地方政治』（昭和五十一年一月二十日岩波書店）『岩波新書』（）等。

譯書、H・J・ラスキ著『議會・内閣・ハ公務員制』（渡辺保男共訳、昭和



和二十四年二月、二十七年岩波書店「岩波現代叢書」等。